

平成22年度 JCOAL公益・自主事業 発表会

JAPAC広報活動

平成23年4月26日(火)

22年度JCOAL広報活動実績

セミナー

- 科学技術館／石炭実験教室(8/10-11)
- クリーン・コール・デー国際会議(9/7-8)
- 2010 APEC 石炭セミナー(10/27-28)
- クリーンコールセミナー福岡(10/29)
- クリーンコールセミナー東京(12/10)

ブース展示

- APEC/福井エネルギー大臣会合(6/19)
- 日欧教育フォーラム「今こそ“エネルギー環境教育“」(7/25)
- 日本エネルギー環境教育学会第5回全国大会(7/31)
- 経済産業省ロビー展(8/23-9/10)
- クリーンコールパネル出展(北海道庁、9/6-8)
- 日中省エネ・環境総合フォーラム(10/24)
- 北海道未来づくり環境展 2010(11/11)
- エコプロダクツ 2010(12/9-11)

インターネット、メディア広報

- ・ホームページ、メールマガジン
- ・新聞、雑誌記事掲載、TV・ラジオ

施設見学会

- クリーン・コール・デー夏休みバス見学会
電源開発 磯子火力発電所(7/29)
- クリーン・コール・デー記念行事国際会議 バス見学会
クリーンコールパワー研究所(7/29)
- クリーン・コール・デー炭都再発見バス見学会
大牟田市炭鉱史跡(10/11)
- 2010 APEC石炭セミナーバス見学会
電源開発 若松研究所(10/29)
- クリーンコールセミナー福岡バス見学会
電源開発 松浦火力発電所

技術情報誌、広報冊子

- 石炭資源開発の基礎Ⅱ(若手技術者向け、9月新刊)
- 石炭の開発と利用のしおり(学生・一般向け、9月改訂)
- 石炭統計資料(ポケット版学生・一般向け、9月改訂)
- コールノート2010年版(石炭関係者向け、12月新版)
- JCOAL JOURNAL(一般向け、1・5・9月定期発行)
- クリーンに利用される石炭(一般向け、9月改訂)
- 石炭は未来のエネルギー(子供向け、9月改訂)

JCOAL広報の意義

中立的立場

- ・ 鉄鋼・電力は独自の広報活動を行なっている。それに対しJCOALは中立的、客観的に活動できるという立場的メリットがある。
- ・ 例えば、国や地方自治体の広報リソースを利用できる（国際会議でのブース展示（福井APECエネルギー大臣会合、日中省エネフォーラム）など）。

国際機関との連携

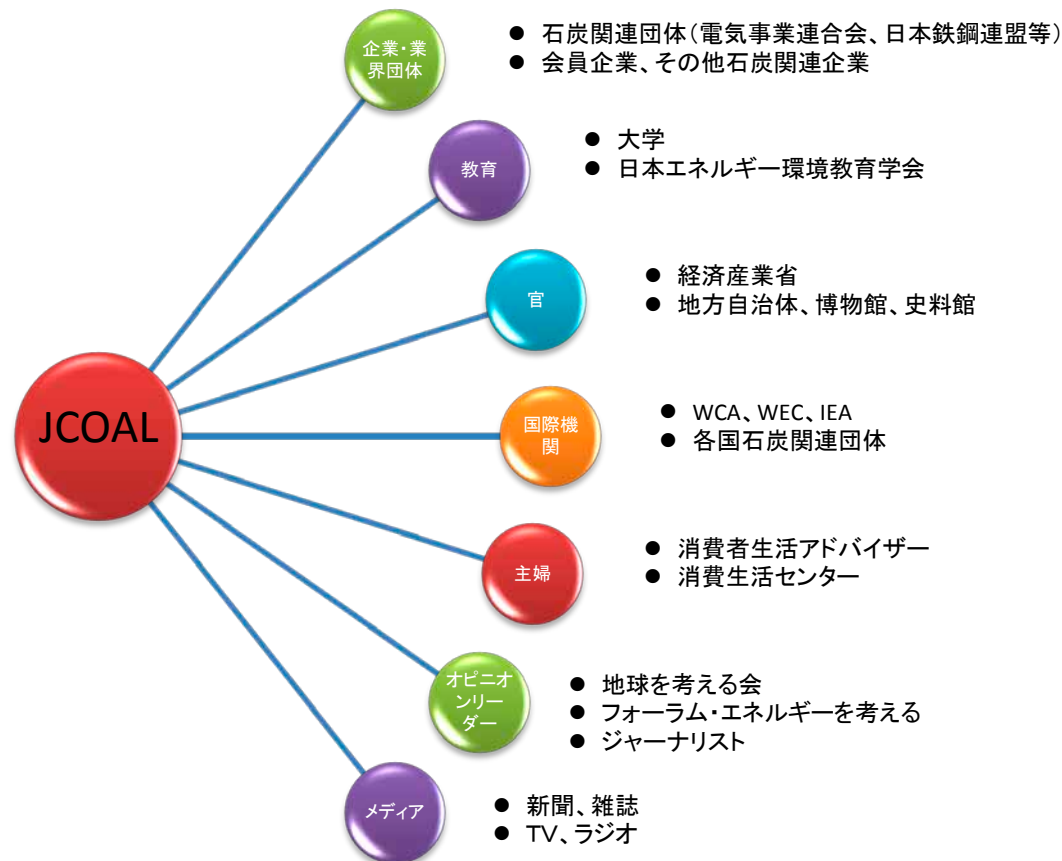
- ・ APEC石炭セミナー事務局業務、APP会議参加や、国際会議（世界エネルギー会議、APEC石炭セミナー）での会長講演などで、日本のCCTについての国際的アピールもできる。

行政との橋渡し

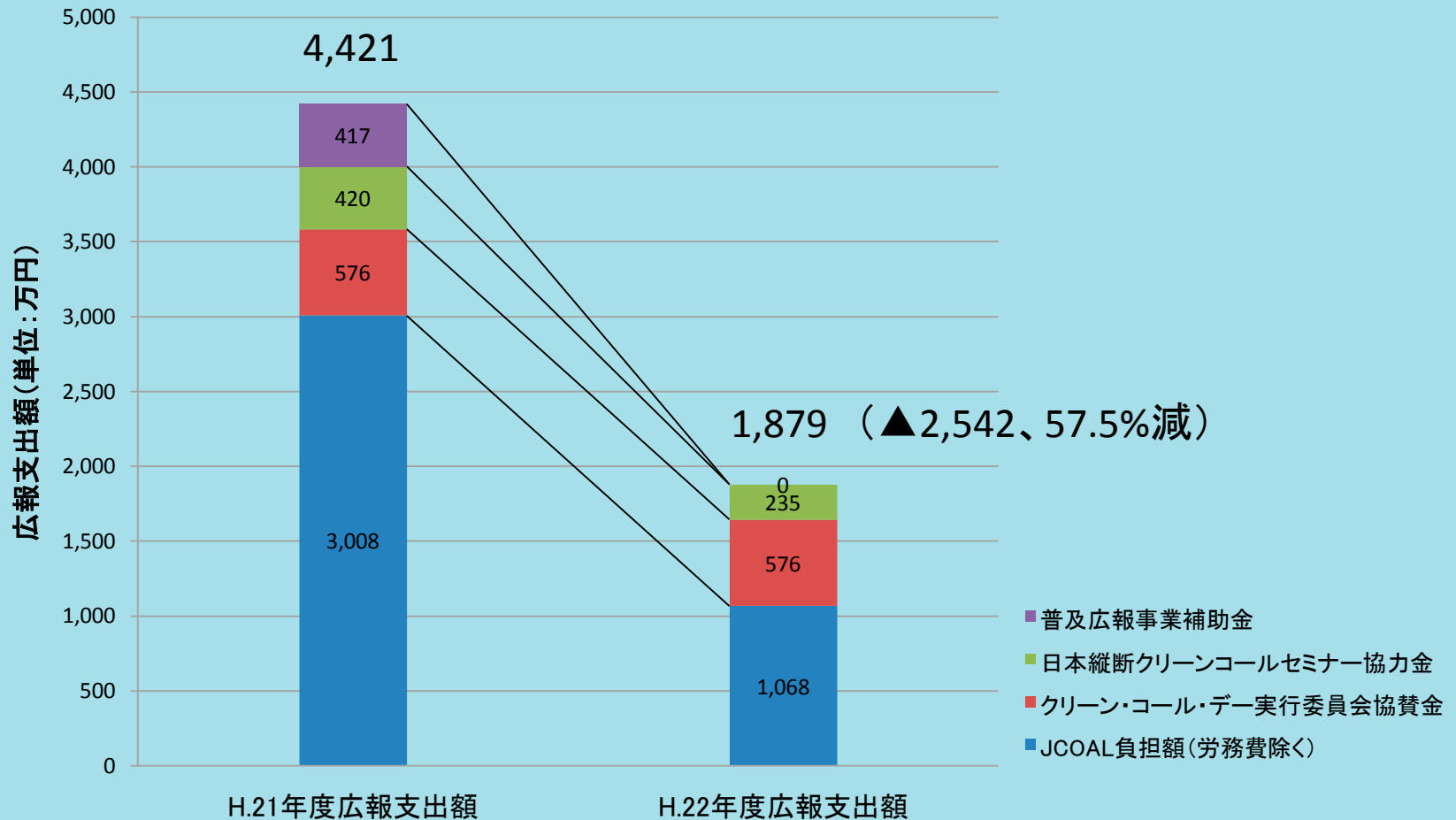
- ・ 地方の経済産業局、自治体（九州、北海道）とセミナー開催、パネル展示などで協力できる。

JCOAL広報ネットワーク

JCOALの特性を活かした広報活動を通じてのネットワークの確立・強化



JCOAL広報支出



主な広報支出削減要因

- 日本縦断クリーンコールセミナーの開催を4回(福岡、東京、北海道、広島)を2回(福岡、東京)に減らした。
- 日本縦断クリーンコールセミナーの外注費を削減した。
- 効果が比較的低いと思われるブース出展を控えた。

JCOAL広報の今後の対応案

エネルギー教育

- 日本エネルギー環境教育学会等を通じての小中高モデル校での広報活動も視野に入れ、また、各地の消費生活アドバイザー等を通じて草の根的広報活動を強化する。

インターネット

- ホームページ、メールマガジンなど、インターネットを通じた広報活動に更に力を注ぐ必要がある。

情報発信

- JCOALの情報発信(技術、データバンク)もよい広報活動となる。技術・情報委員会との連携をよく取る。

23年度活動

- ・ 23年度は、
 - ・ 日本縦断クリーンコールセミナー2~3カ所
 - ・ 草の根活動強化:小中高生向、主婦向広報